

オーケストラ・プライベート・エクイティ、KFC Koreaの売却を完了

約3年間の保有期間を経て、クイックサービスレストラン事業において高い投資成果を実現

2026年4月17日

オーケストラ・プライベート・エクイティ(以下 オーケストラ)が運用するOrchestra Private Equity VI, L.P.(以下 OPE VI)は、グローバル・クイックサービスレストラン(QSR)チェーンの韓国フランチャイジーであるKFC Korea Co., Ltd.(以下 KFC Korea または 同社)の株式譲渡を完了したことをお知らせいたします。

本取引は、約3年間の投資期間を経て実現したものであり、オーケストラにとって重要な投資実績の一つとなりました。

オーケストラは2022年4月、KFC Koreaの全株式を取得しました。取得当時、同社は競争の激しい韓国QSR市場において持続的な成長を実現するため、事業基盤の再構築が必要な局面にありました。

投資期間中、オーケストラはKFC Koreaの経営陣およびYum! Brandsと緊密に連携し、オペレーションの高度化、ブランドの再ポジショニング、デジタルトランスフォーメーションを軸とした包括的なバリューアップ施策を推進しました。主な取り組みとして、店舗ポートフォリオの最適化、サプライチェーンの再構築、デリバリーチャンネルの拡充に加え、価格競争力のあるランチメニューの導入やフランチャイズモデルの再構築を通じ、メニューおよび事業モデル双方に見直しを行いました。

これらの取り組みにより、KFC Koreaは投資期間中、売上高は年平均成長率(CAGR)23%、EBITDAは3.2倍に成長し、日次平均売上も年平均55%増と顕著な業績向上を達成しました。これらの成果は、オーケストラによる経営改革および事業基盤強化の実行力を裏付けるものです。

2026年4月、本件はThe Carlyle Groupが運用するCarlyle Asia Partners V, L.P.への売却により完了しました。本取引においては、PwCがセルサイド・アドバイザーを務め、Bae, Kim & Leeがリーガルアドバイザーとして関与しました。

オーケストラのパートナーであるJay Kimは、「投資期間中にKFC Koreaの経営陣とともに達成した成果を誇りに思います。規律ある実行力と緊密な協働により、事業基盤を大きく強化し、韓国市場におけるブランド価値を最大化することができました。今後も、新たなオーナーのもとでさらなる成長が実現されることを確信しています」と述べています。

本取引は、オーケストラがアジアのコンシューマー分野において、潜在価値の高い企業を見出し、変革を通じて企業価値の向上を実現してきた投資実績を改めて示すものです。

オーケストラ・プライベート・エクイティ 概要

オーケストラ・プライベート・エクイティは、東アジアにフォーカスしたローワー・ミッドキャップ領域のバイアウトファンドであり、優良なローカル企業に対して支配的出資を行い、各市場におけるリーディングカンパニーへの成長を支援しています。日本および韓国における中小型案件を主たる投資対象とするクロスボーダー型のジェネラルパートナーとして、主体的な経営関与と規律ある実行を通じ、企業価値の最大化を図っています。当社は、明確なオペレーション改善余地および成長ポテンシャルを有する企業への投資に注力しており、支配権を伴う投資、厳格な投資判断、およびハンズオンでのバリューアップを中核戦略としています。投資先企業の経営陣と緊密に連携し、オーガニック成長の加速、地理的展開の拡大、ならびに組織およびガバナンス体制の高度化を推進するとともに、国内外における選択的なアドオン投資を実行しています。オーケストラは、深いローカルネットワークと高い実行力、ならびに長期志向の投資アプローチを基盤に、競争優位性を備えた事業基盤を構築し、持続的なリターン創出を図っています。

詳細はwww.orchestraprivateequity.comをご参照ください。本資料に関するお問い合わせはinformation@orchestraprivateequity.comまでお願いいたします。

KFCコリア 概要

KFC Koreaは、グローバル・ファストフードチェーンであるKFCブランドの韓国におけるフランチャイジーです。1984年の韓国市場進出以来、フライドチキンおよびバーガーを主力商品とし、現在では韓国国内240店舗以上を展開しています。継

続的な商品およびサービス品質の向上を通じて、韓国市場における確固たるポジションを確立しています。詳細は、www.kfckorea.comをご参照ください。